



3.ポリエチレンスリーブを装着したダクタイル鉄管に防護コンクリートを打設しても問題ないですか？



片落管部、管端部およびバルブ部などの防護コンクリートでは、管とコンクリートの付着が重要となるため、防護コンクリートを打設する部分については、ポリエチレンスリーブを装着しないでください。



片落管部、管端部およびバルブ部では管軸方向の不平均力が発生し、これら管軸方向の不平均力に対して防護コンクリートを用いる場合、管とコンクリートの付着が重要となります。そのため、ポリエチレンスリーブを装着する管路であっても、管軸方向の不平均力対策として防護コンクリートを打設する部分については、ポリエチレンスリーブを装着しないでください。

この時、ポリエチレンスリーブ末端の防護コンクリートとの境目については、管が直接土壌と接触するのを防止するため、図1、図2に示すようにポリエチレンスリーブの端をコンクリートの中に入れるように施工してください。

図1 管端部でのコンクリート防護例

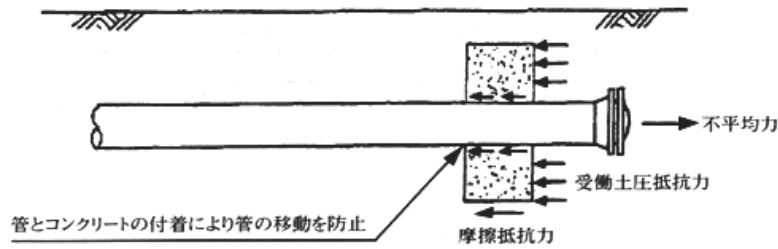


図2 ポリエチレンスリーブの末端処理

